

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

学生のキャリア形成をサポート 教育支援 SNS 「Y-Career」 を 2010 年度入学者に提供開始 先輩、教員、卒業生が在学生の質問に答え支援

- 横浜国立大学経営学部は、学生のキャリア教育支援を目的に SNS 「Y-CAREER (ワイ キャリア)」 を 2010 年度入学者に提供を開始しました。
- 教育支援 SNS 「Y-CAREER」 は、経営学部を中心に学部生約 1,400 名、卒業生約 300 名、教職員約 100 名、ビジネス・キャリア教育プログラムに協力している企業経営者の方々を含め約 2,000 名が参加しています。
- 「学習」、「インターンシップ」、「キャリア」などの情報提供のほか、卒業生、インターン経験者、教員が在学生の質問に答えることによって、経験を継承する Q&A の機能をも併せ持っています。

■教育支援 SNS 「Y-CAREER」 の概要■

教育支援 SNS 「Y-CAREER」 は、ビジネス・キャリア教育プログラムの一環として 2009 年に開設し、横浜国立大学生が、夢や希望を持って将来の生き方を設計していく上で必要となる情報や、進路についての悩み、職業に対する意見交換などを目的とした SNS です。

学生一人一人が、自らのキャリアパスを見つめ考えるツールとなることを期待されており、「学習（講義）」 「インターンシップ」 「キャリア（就職・進学）」 などの

情報提供はもちろんのこと、卒業生、インターン経験者、教員が在学生の質問に答えることによって、経験を継承する Q&A の機能をも併せ持っています。また横浜国立大学生が将来を見据えた意味のある大学生活を実現する手助けとなるよう「キャリアデザインファイル」を用意しており、教育・キャリア形成への積極的なサポートを行っています。

なお、教育支援 SNS 「Y-CAREER」 は、株式会社ガイアックス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：上田祐司）が提供する SaaS 型 SNS 「エアリー」 シリーズ (<http://airy.net/>) を利用しています。



本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学

経営学部 キャリア教育委員長 井上 徹

電話：045-339-3755 E-mail：tedinoue@ynu.ac.jp

参考資料

■ ビジネス・キャリア教育プログラムの概要

ビジネス・キャリア教育プログラムは、自ら考えて行動する主体的な学びを中心とするビジネス教育ポートフォリオによって、企画力・発信力・実現力を持つビジネス人材の育成を行い、学生のビジネス・キャリア形成を支援し、学生の人材としての価値・雇用価値であるエンプロイアビリティを高めることを目的とする取り組みです。

「啓発・学習⇄実践」という、自ら考えて行動する主体的な学びを通じて、「自ら発想し、発信し、行動する人材」を育成することによって、学生のビジネス・キャリア形成を支援しています。

■ プログラムの構成

- 1) 「気づく」契機を与える授業、「経営者から学ぶリーダーシップと経営理論」「ベンチャーから学ぶマネジメント」
- 2) アイデアをプロジェクトに「磨く」授業、「マイ・プロジェクト・ランチャー」
- 3) 実際に「働く」ことで実践から学ぶインターンシップ
- 4) 自ら「創造」し、発信するビジネスプラン・コンテスト **Y1**
- 5) 継続的に学び、教育目標を達成するための副専攻プログラム「ビジネス・プラクティス」
- 6) 学生のキャリア形成・学び・生活を支援するSNS **Y-Career**

横浜国立大学 教育支援SNS「Y-CAREER」より

<学生の講義に関するやりとり>

<p>2009年 04月22日 21:16</p>	<p>2: pokelover 削除</p> <p>えーっと、また管理人さん以外書き込んでいいよう不安ですが… 経営システム科学科1年のpokeloverと申します。 以後お見知り置きを。</p> <p>昨日の授業、参加しました。 橋本さんのお話は学生を驚かせない内容で、大変勉強になりました。 単に経営の方針だけでなく、私たちに大学生活4年間のアドバイスしてくださったことが強く印象に残っています。 しかし、講演の中で少々疑問に感じた部分もありましたので、ちょっと書き進ねてみたいと思います。</p> <p>講演の中で橋本さんは任天堂やヤマダデンキを例に挙げ、「これらの企業は人間至上主義経営ではない」とおっしゃっていました。 確かに、任天堂の山内博相総裁の個人資産は4455億円と(「プレジデント」2009.5.4号)、莫大なお金のため込んでいる事業に変わりはありませんし、下請け会社に利益が5%しか回っていないというのも事実なのだと思います。しかしながら、これらの企業が自社の製品を通じて日本中、世界中の人々に幸福を届けている、というのもまた事実であると思います。このことを考慮に入れたとき、はたしてこの2社は本当に「人間至上主義」経営ではないのか、判断に悩むところだと思います。もちろんこの2社の場合、自社と取引先との関係がwin-winでないところに問題があるのだと思いますが…</p> <p>そもそも企業は利益を産まなければならぬのが宿命ですから、単純に「儲けてるから」という理由では批判の材料にはならないと思います。アイデアインターナショナルさんも利益を得ているからこそ寄付などの社会貢献活動ができ、新たなCSR事業に踏み出せるのであり、講演の中でそれについて言及されなかったのが少々残念だった気がします。</p> <p>いろいろ生意気なことを言ってしまう、申し訳ありません。</p>
<p>2009年 04月23日 08:44</p>	<p>3: ted 削除</p> <p>pokeloverさん</p> <p>tedこと井上です。</p> <p>全然生意気ではありませんよ。</p> <p>最初の疑問は、むしろ、多くの人が持ってよい疑問です。また、2つめの方は、誤解、もしくは伝わっていないことがあるようです。この2つについては、関連しているので、まとめて簡単に(それでも長くなる)私の考えを述べます。</p>

<学生プロジェクトの紹介>

<p>2009年 04月01日 22:48</p>	<p>1: まくじー</p> <p>はじめまして。 「食を中心としたまちづくりプロジェクト」リーダーのまくじーです。</p> <p>本プロジェクトは、「横浜国立大学スローフード研究会(http://blogs.yshoo.co.jp/slowfood.ynu)」を母体とし、「地域交流科目 地域課題解決プロジェクト(http://www.chiki-kyu.ynu.ac.jp/)」として動いていく予定です。 具体的には、以下の4つの活動を中心に進めていきます。</p> <p>①「作る」 横浜国立大学内の敷地で、野菜を無農薬で栽培する。 栽培する作物としては、江戸時代から生産が始まった「保土ヶ谷いも」、保土ヶ谷区西谷町で栽培されている「西谷ネギ」と、保土ヶ谷在来の野菜を中心に育てる。 そして、収穫された野菜は学園祭や地元のお祭りなどで販売し、学生や地域住民に「地元の伝統的な食材」に関心を持ってもらう。</p> <p>②「スローフード・レストラン」 上記の①で採れた野菜や横浜市内の野菜を使った料理を提供する、一日限定のレストランを定期的に行う。 そして、そのレストランを通じて横浜の農産物をPRし、市民に地場野菜のおいしさを理解してもらう。 営業形態としては、「飲食店を借りて本格的な料理を提供する」、「地元のイベントに模擬店形式で出店する」の二通りで行う。 また、このレストランに併設して、①の野菜の販売をし、保土ヶ谷在来の農産物をPRする。</p> <p>③「食育」 保土ヶ谷区内の小學生に、上記の①で採れた野菜を収穫してもらう機会を設け、保土ヶ谷区の農産物に関する理解を深めてもらう。 また、その野菜を調理し、食べることで、採れたての野菜や旬の野菜のおいしさを学んでもらう。</p> <p>④「ブログ」 本サークルを紹介するブログを運営する。 主に、①の野菜の発育状況、②のイベントの告知などを掲載する。 また、地元で頑張っている生産者を取材し、ブログで紹介する。</p> <p>現在、このプロジェクトのメンバーを募集中です。 興味のある方はこのトピックに書き込み、または直接メッセージください。</p>
-----------------------------------	--